



## 増毛町総合交流促進施設「元陣屋」図書室

北海道外で増毛（ましけ）町という地名を聞いたことのある方はいるでしょうか？（鉄分豊富な方はもちろん知っていますよね。）

増毛（ぞうもう）ではないです。あのアートネイチャーが、増毛町とコラボして2022年秋に全国へ動画CMをイメージキャラクターとして、城島茂氏(元 TOKIO)を起用して配信したのを憶えている方もいるかと思います。ご本人も「増毛という町があるのですか？」と驚いていました。旧増毛駅にPRパネルなどが一時期展示されていました。

高倉健主演による名作『駅-STATION-』の舞台となったのは増毛です。駅はもちろん町内あちらこちらでロケを行っています。この作品も大好きなので聖地巡礼しましたよ。後述する旧増毛小学校もロケに使われました。

その増毛駅は2016年12月まで空知の深川から留萌（るもい）を經由して、留萌本線として運行していましたが留萌増毛間廃止。その後留萌石狩沼田間廃止。そして2026年3月31日石狩沼田から深川間も廃止となり、留萌本線は全て廃止となります。寂しいだけでなく、すごく町から町への移動がしにくくなりました。人口4000人ほど。

増毛は札幌から増毛經由留萌行き高速バスで2時間半ほど。このルートは海岸沿いの国道231号（通称オロロンライン）を北上します。冬場は日本海の荒波と厳しい豪雪地帯。運休することもしばしばあるので、真冬に訪問する場合は必ず運行状況や道路の通行止めを確認してください。札幌から留萌まで滝川や深川を經由する高速バスもあり、留萌で増毛に向かう路線バスに乗り換えもできますが、こちらのルートは距離も時間も掛かります。

旧増毛駅バス停から徒歩10分もしないで図書室に到着します。

総合交流促進施設「元陣屋（もとじんや）」は1996年に開館した文化交流施設です。郷土資料室、図書室、会議室や多目的ギャラリーなどの複合施設です。図書室の所蔵は29000冊ほど。

入館すると左に郷土資料室、右に図書室です。図書室にはミニ展示「家庭教育について考えてみよう」「すごいぞ！6月の記念日」「お問合せ多数！啓発チラシに載った本 この話題に乗り遅れるな！」など多数行われています。いたるところに「お手持ちの端末で図書を検索ができます」とQRコードを掲示しています。土足厳禁による「おえかきスペース」を見つけました。壁面がホワイトボードになっているので、自由に絵を描いて良いという空間。ちょっとしたワークショップなどにも活用できるなど興味を持ってしまいました。読み聞か

せによる「おはなしのへや」も隣にありこちらも土足厳禁。お父さんが娘さんに読み聞かせしていました。良いですね～

図書室から 10 分ほど歩くと旧増毛小学校に到着します。普段は校舎内見学できないのですが、タイミングよく今回は見学できました。前は窓の外側から内部を覗いていたものです。

1936(昭和 11)年建築による北海道内最大最古の大型木造校舎です。2011(平成 23)年度まで現役の小中学校として使われていました。

校舎内全て見学しました。教室、体育館、職員室・・・そして図書館！既に本は全て片付けていましたが、書架は部屋の隅に置かれたままです。生徒が読書する机と椅子は今もそのまま置かれています。「としょかんのきまり」と書かれた掲示が残っていました。要約すると「借りられるのは月～金、中休みと昼休み。一度に 1 人 2 冊までで 2 週間以内に返却。」

現在、校舎内ではどの部屋の空間も黒板アートで盛り上がり、子供から大人まで参加しています。カラフルに「ましけのお魚ずかん」モノクロで「長嶋茂雄」など、とにかくクオリティが高い！訪問した時にはこれから描き出す黒板もあれば、完成している作品もあり、夏場にすべて大公開するそうです。これは是非校舎見学と合わせてお薦めです。

ところで「元陣屋」とはどういうことでしょうか？

1855(安政 2)年、幕府より秋田藩は増毛での北方警備を命じられ、翌年詰め所として元陣屋が建てられました。ちなみに 1853 年は黒船が浦賀に来航した年です。当時和人の漁場は樺太にまで拡大していました。またこの時期、ロシア船が樺太のクシュンコタンを占拠するという事件が起こり、急遽北方警備を必要としました。元陣屋の「元」は拠点という意味です。秋田藩はおおよそ 12 年間、増毛の元陣屋を中心として警備と開拓を行いました。

とても簡素な建物だったので多くの凍死や病死者が出ました。ロシア軍よりも増毛の厳しい寒さの方が恐ろしかったことでしょう。

明治になると港湾、鉄道の整備が進み、特に鯉漁で栄えた最盛期には貨物輸送の拠点としてにぎわい、旧増毛駅周辺の旅館、店舗、酒屋などが現在も一部保存されています。

最後に、増毛には日本最北の酒蔵として秀峰暑寒別(しゅうほうしょかんべつ)岳の伏流水を使った銘柄「國稀(くにまれ)」があります。1882(明治 15)年初代本間泰蔵が創業。北海道で一番古い造り酒屋です。駅前通りに 1905(明治 38)年から 10 数年かけて建てられた石造りの建物群を見学することができます。日本酒を滅多に飲まない私はとてももったいないというか価値をどこまでわかっているんだ?!と言われそうです。

2025 年 6 月訪問

加藤 重男